



第31期 トランスコスモス通信

2015年4月1日 >>> 2016年3月31日

トランスコスモスは1966年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めてまいりました。現在では、お客様企業のコスト削減と売上拡大を支援するビジネスプロセスアウトソーシングサービスを、アジアを中心に世界28カ国・159の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。さらに、世界規模でのEC市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界45カ国の消費者にお届けするグローバルECワンストップサービスを提供しています。

トランスコスモスは高品質なBPOサービスを世界規模で提供する、お客様企業の「Global BPO Partner」を目指しています。

トップメッセージ

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、「お客様の満足の大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。」というコーポレートビジョンのもと、企業価値ひいては株主共同の利益向上を図るべく、グローバルなBPOサービス企業へ成長するべく歩みを進めています。

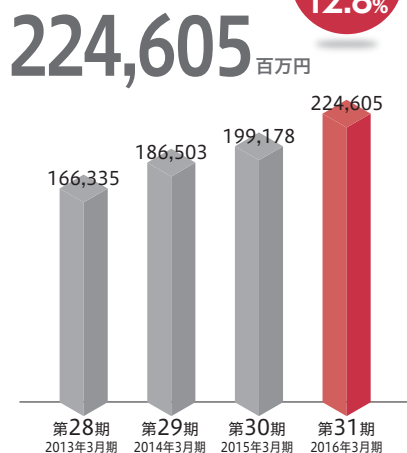
当社は、おかげさまで2016年6月に創業50周年を迎えることができました。今後も引き続き事業環境の変化に迅速に対応できるよう、諸施策に取り組み、持続可能な発展を目指してまいります。

今後とも皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いたします。

当期の決算の概要について

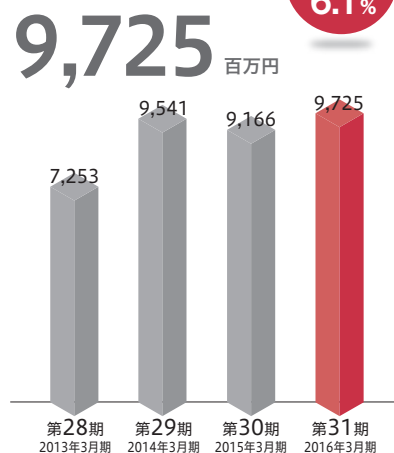
当社グループが展開するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスを取り巻く環境は、労働人口の減少、企業のグローバル化などが進行する中、コスト競争力の強化、事業環境変化への柔軟な対応といった企業ニーズが一層強まり、総じてサービス需要が拡大しております。また、スマートデバイスやタブレット端末の普及・進化、SNS利用の広がりなどに伴い、企業のデジタルマーケティングへの関心やEC(電子商取引)ビジネス展開などが加速しており、

● 連結売上高



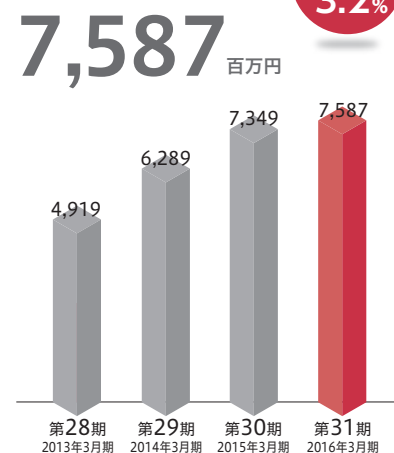
(単位:百万円)

● 連結営業利益



(単位:百万円)

● 親会社株主に帰属する連結当期純利益



(単位:百万円)

こうした動きに伴うサービス需要も拡大しております。さらに、マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)や電力の小売自由化といった法制度改正や、増加する訪日外国人(インバウンド)への対応などに伴うBPOサービス需要の増加が予想されます。

このような状況の中、当社グループは、コンタクトセンター、バックオフィス、設計開発、デジタルマーケティング、ECなどの業務を中心としたBPOサービスを積極的に展開し受注の増加につなげました。また、拡大する国内外のBPOサービス需要に対応していくためのサービス体制の強化、グローバルECワンストップサービス強化を目的とした海外有力企業との

パートナーシップ推進などに努めました。

当期の取り組みについて

具体的には、国内においては、コンタクトセンターのLINEチャット化をはじめ、企業と顧客の新しいコミュニケーションスタイルに対応していくため、LINE株式会社と共同出資による新会社「transcosmos online communications株式会社」の設立について基本合意書を締結しました。また、新たなコンタクトセンターソリューションの創出に向けて、コグニティブ・コンピュー

ディング・システム「IBM Watson」を活用した付加価値の高いサービスの普及・浸透を推進する「IBM Watson エコシステムプログラム」に参加する契約を締結しました。海外においては、韓国での業務拡大に伴い、韓国に新たに営業拠点5カ所とオペレーション拠点1カ所を開設しました。また中国では、通信及びスマートフォン分野で業界をリードするHuawei Technologies Co., Ltd.の携帯端末、ウェアラブル、家庭用製品ユーザー向けに、電話・チャットによるテクニカルサポートサービスを提供するコンタクトセンターとして「上海第三センター」を設立しました。一方、グローバルECワンストップサービス強化のための取り組みとしては、中南米地域におけるサービス体制強化を目的に、中南米No.1 ECマーケットプレイスへの出店を支援するECワンストップサービス企業「EmporioCommerce Inc.」と資本・業務提携しました。

今後の取り組みについて

引き続き、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、アジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させ、当期実績を上回る業績を確保することを目指します。また、今後も高い成長が見込まれるEC市場において、お客様企業のEC事業を支援するグローバルECワンストップサー

ビスの展開を強化していきます。

株主還元の方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置づけております。

当社の配当政策は、業績に連動した配当性向重視型を採用しており、株主の皆様に対する利益還元を図ることにより、結果として当社株式の市場価値を高めることを基本方針としております。

このような方針に基づき、2016年度の配当は1株当たり56円とさせていただきます。

2016年6月

代表取締役社長兼COO

奥田 昌孝

熊本地震に関するご報告

熊本地震により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

4月16日未明に熊本県で発生したマグニチュード7.3の本震の影響で、熊本に所在する当社の「BPOセンター熊本（以下、熊本センター）」におきまして、一部の設備に損傷がありました。余震の懸念もあることから、一時的に熊本センターの稼働を停止いたしました。その後、熊本センターで請け負っている業務ごとのBCP対策に則り、お客様企業からの多大なるバックアップもいただき、すべての業務を再開いたしました。

また従業員（550名）の全員が無事だったことも確認いたしました。

その他、食料など物資の不足に対して、当社拠点のある長崎・福岡・大阪から熊本センターへ物資の輸送を実施いたしました。



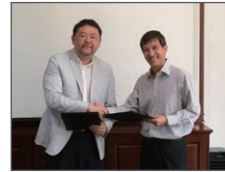
- 従業員の安否：550名全員の無事を確認
- センター設備：一部損傷したものの、現在は復旧済み

2015年度下半期のトピックス

ASEAN各国・インドのECリテラーに販路をもつシンガポールのECフルフィルメント企業 Anchantoと資本・業務提携に合意



マレーシア最大のECモール運営会社INTERBASEと資本・業務提携に合意



産学連携で東京大学「グローバル消費インテリジェンス寄附講座」へ参画

2015

10月

11月

12月



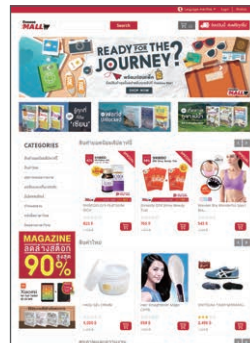
ASEAN最大のE-Bookストア「Ookbee」と合併会社「Ookbee Mall」を設立、サービスを開始

タイではEC市場が急速に拡大しており、日本文化や日本製品への関心が高まる中、ASEAN最大のE-BookストアのOokbeeがもつ650万人以上のユーザーデータと、当社グループがもつ越境ECのスキームを活用し、タイの雑誌や本・商品の販売および日本のコスメ・食料品などの越境EC販売を行う合併会社Ookbee Mallを設立しました。

Ookbee Mallでは、まずは書籍を含む9万点の商品から販売を開始し、日本のユニークな商品をはじめとする商品カテゴリを拡充し、書籍と連動したマーケティング施策を推進していきます。また、ASEANにEC事業で進出するお客様企業のパートナーとして広く連携することも視野に入れており、商品の販売だけでなく書籍の読者層へのマーケティングサービスも提供していきます。



名称	Ookbee Mall (Thailand) Co., Ltd.
代表	C.E.O. 松尾俊哉 (トランスコスモス株式会社理事 海外事業総括 ASEAN事業本部)
所在地	バンコク、タイ
資本構成	トランスコスモス70%、Ookbee30%



<http://www.ookbeemall.com/>



多言語コンタクトセンターを構築し訪日外国人向けサービスを強化

訪日外国人が増加する中、多言語での問い合わせに対応できるコンタクトセンターのサービスとして開始した「ハイブリッド多言語コンタクトセンターサービス」に加えて、新たに「多言語コンタクトセンター」を構築しました。

「多言語コンタクトセンター」は、既存のコンタクトセンター「マーケティングチェーンマネジメントセンター札幌北口」内に30席規模で構築し、2020年までに国内外拠点で300席規模への拡大を目指します。

長年のコンタクトセンター事業運営で培った育成・品質マネジメントとともに、海外31拠点を運営する強みを活かし、グローバル人材・拠点のリソースを活用した多言語コンタクトセンターサービスを展開します。

主な活用例

- 商品・サービスにおける外国人向けコンタクトセンター・ヘルプデスク
- 訪日外国人旅行者向け窓口(観光・ホテル・鉄道など)
- 店舗来訪者外国人向け 三者間通訳(各業界)
- 官公庁・自治体向け 訪日外国人窓口
- 外国人向け 従業員窓口・採用窓口(各業界)

業務風景



2015年度下半期のトピックス

中国越境ECモール「KJ T.com」内に「transcosmos海外旗艦店」をオープン



日本特有の個性で素晴らしい『日本酒』を販売するECサイト「酒虎」をオープン



富士通HRプロフェッショナルズの株式をトランスコスモスへ一部譲渡

IBM Watson エコシステムプログラムに参加

韓国での業務拡大に伴い15拠点に規模拡大

2016

1月

2月

3月

中南米のECワンストップサービス企業「EmporioCommerce」と資本・業務提携に合意

EmporioCommerce(以下、エンポリオコマース)は、中南米でのオンライン販売流通量最大のECマーケットプレイスMercadoLibre(Nasdaq:MELI、以下、メルカドリブレ)への出店代行と他のECモール・ECサイトへの出店、ECサイト構築、フルフィルメント、カスタマーサービス、オンラインマーケティング、ペイメント等のEC支援サービスをワンストップで提供しています。

当社は、エンポリオコマースと資本・業務提携することで、これまでのアジア・北米・欧州に中南米を加えた世界40カ国に販路を拡大しました。中南米No.1のECマーケットプレイスであるメルカドリブレへの出店支援をはじめ、中南米地域にEC進出するお客様企業の支援、中南米企業のアジア進出の支援など、中南米地域でのパートナーとして幅広く連携していきます。



名称	EmporioCommerce Inc.
代表	Co-founder & Director Andres Lawson(アンドレス・ローソン) Jorge Lopez(ホルヘ・ロペス) Gabriel Topola(ガブリエル・トポラ)
所在地	アルゼンチン、ブエノスアイレス
設立	2013年

LINEと共同出資による新会社設立に関する基本合意書を締結

新たに設立するtranscosmos online communicationsでは、LINE上における企業と顧客のコミュニケーションをより加速させるため、LINE ビジネスコネクートを活用した新しいサービスメニューの開発や、企業向けのコンサルティング、企画業務をトランスコスモスとLINEで共同で行ってまいります。

まず、その先駆けとしてLINE上でのOne to Oneカスタマーサポートソリューションのさらなる導入促進を図り、企業がユーザーからの問い合わせをLINE上で対応する“コンタクトセンターのLINEチャット化”を促進していきます。電話・メールで行っているユーザーサポート業務をLINE上でのチャットとメッセージのやり取りに移管することで、従来、電話やメールの問い合わせ受付だけでは実現できなかった相談内容への綿密かつ素早い対応や、問い合わせ自体がされずに関係構築ができなかった顧客層へのアプローチも可能になります。

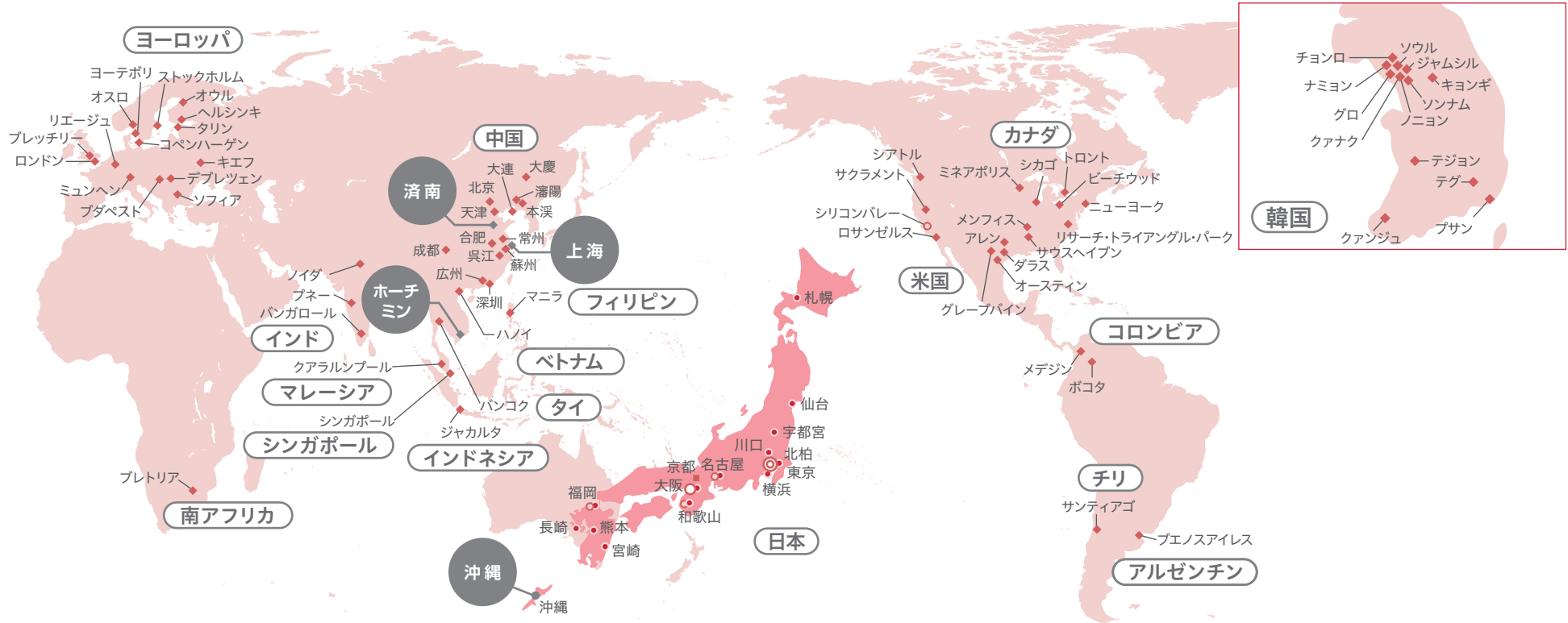
今後、transcosmos online communicationsでは、LINEのプラットフォーム・ユーザー基盤とトランスコスモスの営業・開発力を活かし、企業とユーザーのより良い関係構築を実現するさまざまなソリューション・サービスの提供に向けて取り組み、企業と顧客の新たなコミュニケーションのデファクトスタンダードを目指していきます。



名称	transcosmos online communications株式会社
代表	代表取締役 貝塚 洋(トランスコスモス株式会社 常務執行役員 兼任)
所在地	東京都渋谷区渋谷3-25-18
出資比率	トランスコスモス 60%、LINE 40%

国内・海外拠点 世界28カ国159拠点で展開

◎ 本社 ○ 本部 ● 支社 ■ 営業所 ● サービス拠点 ● 国内 49拠点 ◆ 海外 110拠点 (27カ国)
(拠点数には、本部・支社・事業開発・提携先などの拠点含む) 2016年3月末現在



新規拠点の紹介

沖縄 **日本**

マーケティングチェーン
 マネジメントセンター沖縄県庁前
 コンタクトセンターサービスを提供

上海 **中国**

上海第三センター
 テクニカルサポート、カスタマーサポートを提供

済南 **中国**

済南センター
 システム開発、システムインテグレーション、
 IT技術サポートを提供

ホーチミン **ベトナム**

ホーチミンセンター
 コンタクトセンターサービス、日本向けWeb
 サイト制作・運用サービスなどを提供

事業紹介

ビジネスプロセスアウトソーシングサービス

経理・財務や人事などのバックオフィス業務、受発注業務、情報システム運用保守業務、機械・建築設計といった設計業務など企業のノンコア業務を支援するアウトソーシングサービスを提供。

当社の特長

- 日本国内における最大規模のオフショアサービス体制を確立(中国・タイ・ベトナム・インドネシア・フィリピン、18拠点)
- システム開発/運用・オーダープロセッシング・建築設計・機械設計・組込開発・データ入力・人事/経理/営業/バックオフィスと幅広い領域においてサービスを提供
- 業界に先駆けて1995年に中国でのオフショア開発体制を確立
- 豊富な実績(創業50年、ヘルプデスク¹業界トップクラス)

コンタクトセンターサービス

顧客からの問い合わせや苦情対応、商品・サービスの案内や営業セールス支援など、顧客サポート業務のアウトソーシングサービスを提供。

当社の特長

- 日本・中国・韓国を中心としたアジア最大規模のコンタクトセンターサービスプロバイダー
- 国内23拠点・約14,500席、海外31拠点・約9,560席の国内最大規模のコンタクトセンターサービスを提供
- 金融・テレコム・ハイテク・医薬・化粧品・流通・自動車・航空・公共など多分野での取引実績
- いち早くソーシャルメディアでの顧客サポートを専門的に行う渋谷ソーシャルメディアセンターを開設

用語解説

- ヘルプデスク→パソコンやソフトウェアの使用法やトラブルに関する問い合わせに対応する企業内の業務のことを指す。社外に委託する場合も多い
- アドテクノロジー→テクノロジーを駆使した広告のことで、主にインターネット技術を活用した広告領域全般のことを指す

デジタルマーケティングサービス

インターネットインフラを活用したマーケティング活動を支援。インターネットプロモーション、Webサイト構築・運用、オムニチャネルマーケティング、分析・リサーチサービスなどを提供。

当社の特長

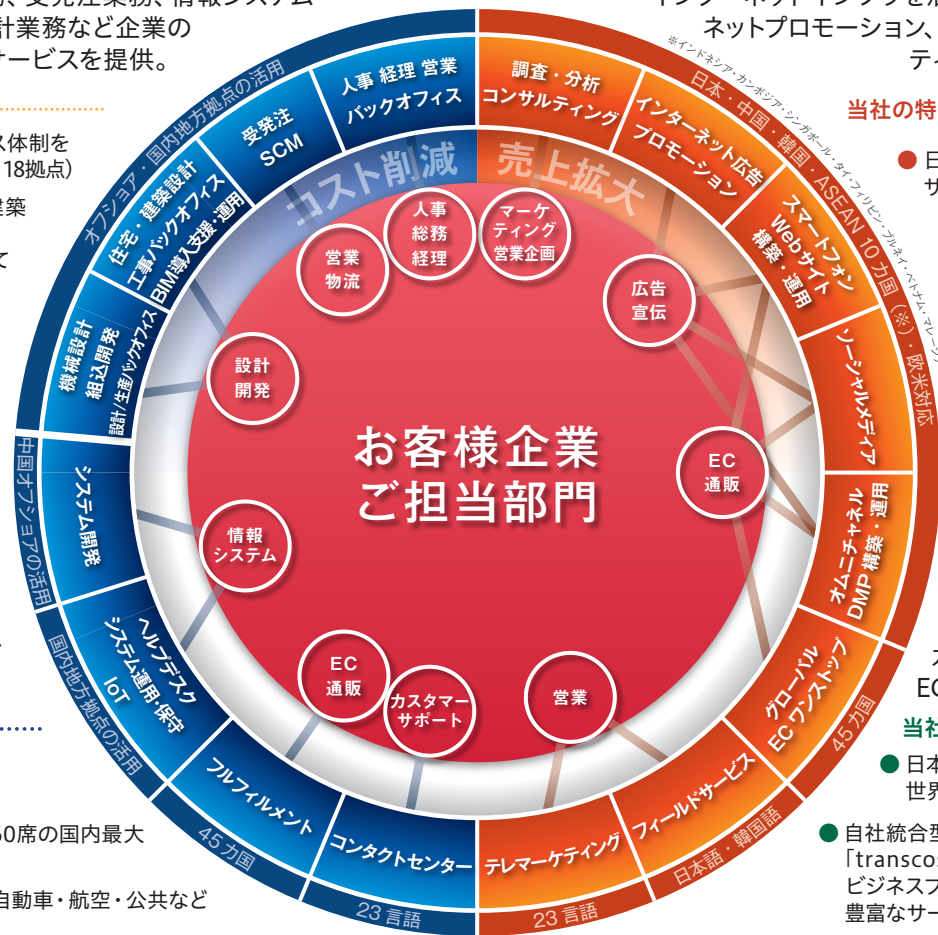
- 日本・中国・韓国を中心としたデジタルマーケティングサービスプロバイダー
- インターネットプロモーションからWebサイト構築・運用まで全てをワンストップで支援する体制を確立
- 国内最大級のWebサイト構築・運用体制を確立
- 北米に事業開発拠点を構え、最新のアドテクノロジー²を積極的に導入

ECワンストップサービス

企業のEC事業戦略およびブランド戦略に基づき、ECサイト構築・運用からフルフィルメント、カスタマーケア、Webプロモーション、分析までEC事業に必要な各種機能をワンストップで提供。

当社の特長

- 日本・欧米・中国・韓国・ASEAN・インド・南米など世界45カ国でサービスを提供
- 自社統合型ECプラットフォーム「transcosmos eCommerce HUB」、コンタクトセンター・ビジネスプロセスアウトソーシング・デジタルマーケティングなど豊富なサービス・実績を融合
- 欧米・中国・韓国の有力企業とのパートナーシップで対象市場の文化や特性に合わせたEC事業展開が可能
- アパレルやコスメ、電子書籍などのASEAN市場トッププレイヤーと提携し、ASEAN市場へのEC進出を支援



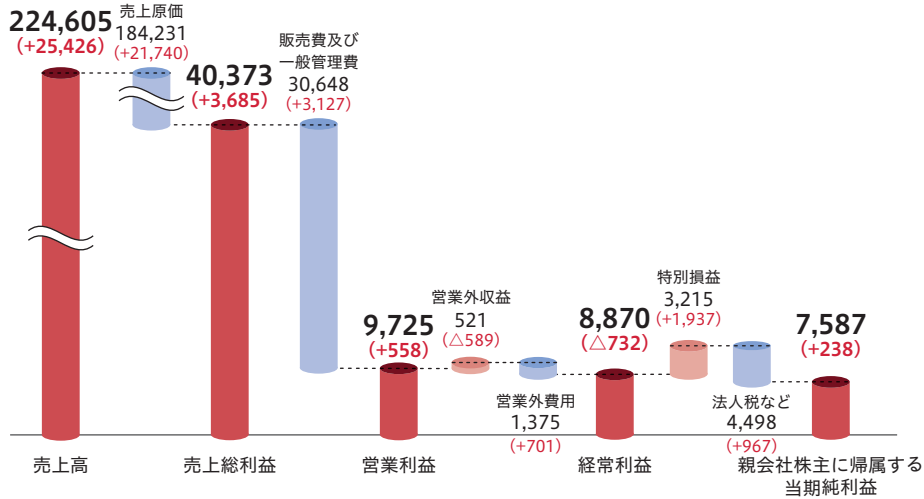
※国数・拠点数・席数・人数は全て2016年3月末現在

連結財務情報

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

当連結会計年度(2015年4月1日から2016年3月31日まで)



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。
 ※()内数字は前期比増減

売上高

コンタクトセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス、デジタルマーケティングサービス、ECワンストップサービスなど主力事業である単体サービス、および海外関係会社などの受注が好調に推移し、売上高は前期比12.8%の増収となりました。

営業利益

受注増加に加え、主力の単体サービスにおける収益性が改善したことにより、営業利益は前期比6.1%の増益となりました。

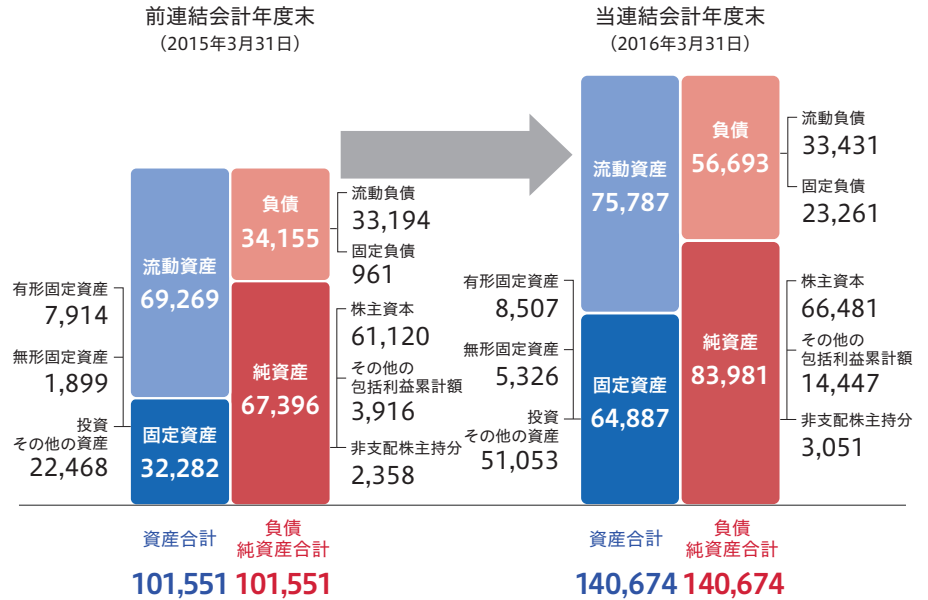
親会社株主に帰属する当期純利益※

営業外費用の増加で経常利益は減益だったものの、投資有価証券の売却など特別利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比3.2%の増益となりました。

※企業結合会計基準等の改正に伴い、2016年3月期から従来の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」へ表記を変更しています。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



資産、負債および純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べて39,123百万円増加しました。負債は、前連結会計年度末に比べて22,537百万円増加しました。また純資産は、前連結会計年度末に比べて16,585百万円増加しました。これらの主な増加要因は、第1四半期連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社の一部株式について、2017年9月を譲渡予定日とした株式譲渡契約締結に係る会計処理によるものであり、各項目の内容は以下のとおりです。

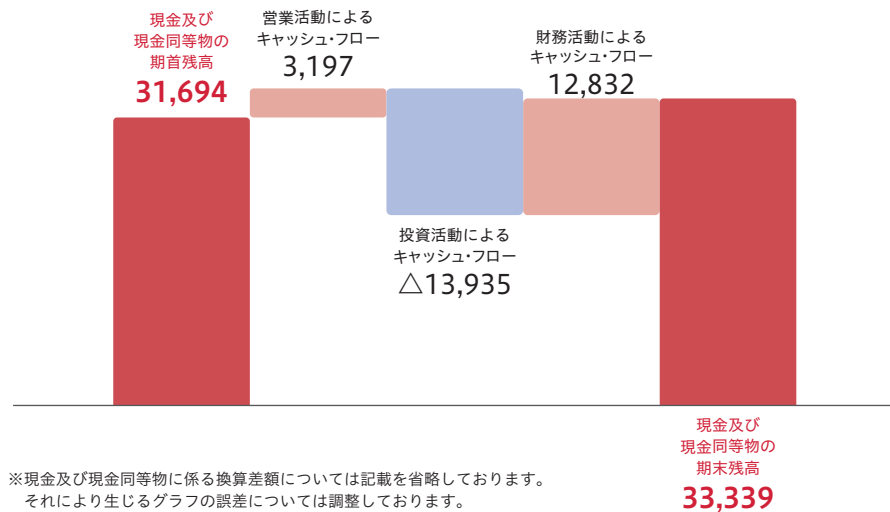
- 資産の部… 当該譲渡契約の対象となる株式について保有区分を変更し、関係会社株式から投資有価証券に振り替え、時価評価したことにより、投資有価証券が増加
- 負債の部… デリバティブ債務の計上および繰延税金負債が増加
- 純資産の部… その他有価証券評価差額金の増加、繰延ヘッジ損益(損失)の計上

また、上記のほか、無形固定資産ののれんや固定負債の転換社債型新株予約権付社債や長期借入金が増加しました。なお、当連結会計年度末の自己資本比率は、57.5%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当連結会計年度(2015年4月1日から2016年3月31日まで)



※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しております。それにより生じるグラフの誤差については調整しております。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ8,980百万円収入が減少し、3,197百万円の収入となりました。この主な要因は、「売上債権の増減額」が増加したことや「未払消費税等の増減額」が減少したことなど一時的な要因によるものです。

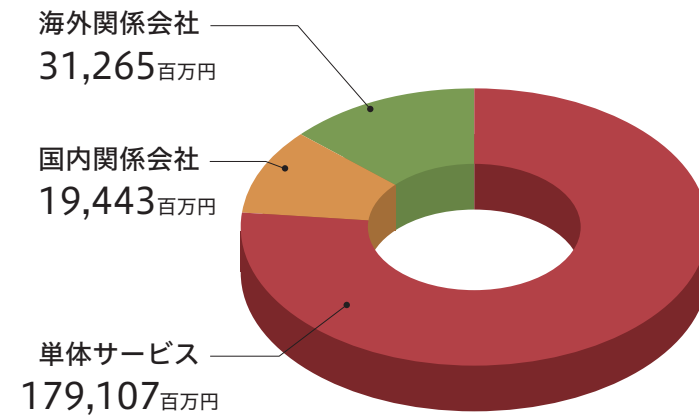
投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ5,872百万円支出が増加し、13,935百万円の支出となりました。この主な要因は、「関係会社株式の取得による支出」や「事業譲受による支出」が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ12,832百万円の収入(前連結会計年度は3,769百万円の支出)となりました。この主な要因は、「社債の発行による収入」や「長期借入れによる収入」が増加したことによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べて1,644百万円増加し、33,339百万円となりました。

セグメント別売上高

当連結会計年度(2015年4月1日から2016年3月31日まで)



注)セグメント間取引消去等△5,211百万円は含まず

単体サービス

当社が展開するビジネス・プロセス・アウトソーシング事業

国内関係会社

国内グループ会社が展開するビジネス・プロセス・アウトソーシング事業

海外関係会社

海外グループ会社が展開するビジネス・プロセス・アウトソーシング事業

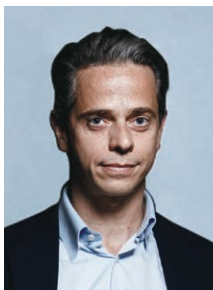
コーポレート・ガバナンスのご報告

基本的考え方

当社は、「お客様の満足の大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。」というコーポレートビジョンを具現化するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の最重要課題のひとつと認識し、株主の皆様やお客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員などの各ステークホルダーと良好な関係を築き、お客様に満足していただけるサービスの提供、経営責任と説明責任の明確化、透明性の高い経営体制の確立および監視・監督機能の充実に努め、企業価値の最大化を目指しております。

当社では2015年に社外取締役の独立性に関する判断基準を策定し、株主総会招集通知などにこれを記載して開示しています。今後も独立性のある社外取締役による経営監視機能の強化を図るとともに、社外取締役の専門的な知見を当社の事業推進に活かすなど、持続可能な企業価値の向上を目指します。

社外取締役からのコメント



社外取締役
オーウェン・マホニー

Q1 トランスコスモスの印象はいかがでしょう？

1年前に社外取締役に就任して以来、トランスコスモスで出会った皆さんの事業への徹底した姿勢とプロフェッショナルな意識に感銘を受けています。広範な分野にサービスを提供しているため、会社の成長に伴い、事業は極めて複雑化していますが、規律を持ち、事業遂行を徹底することで対処しています。同時に、テクノロジーの発展により、対象事業分野が根本から変わりましたが、取締役や経営陣が、技術・競合の進展から目を背けず、お客様および全社利益のためにどう適応していくべきか常に深く議論していると思います。

Q2 社外取締役を務める上で留意していることは何ですか？

社外取締役として主に2つの点に焦点を合わせています。1点目は、経営陣が会社を成長させることに十分集中できているか、明確な成長戦略があるか、その実行計画があるか。2点目は、1点目と同じくらい重要ですが、健全なコーポレート・ガバナンスを確保できる運営を行っているか、投資時に(M&A、マーケティング、製品開発、新拠点設立など)十分な分析を行っているか、事業機会だけでなく事業リスクも考慮しているか、組織が成長し大きくなっていく中で、万が一誤りや問題点が生じた場合に、検知するための仕組みや体制が構築できているか、という点です。

Q3 トランスコスモスに今後期待することは何ですか？

トランスコスモスは、その専門性、規模、国際的対応力という点で、市場でユニークなポジションを形成し、お客様企業を支援しています。IT技術により周囲を取り巻く世界の相互的つながりが深まる中、ぜひその独自の強みを活かし、従来以上に多様なお客様に信頼されるビジネスパートナーになってほしいと思います。

CSR活動のご報告

基本的考え方

責任ある企業活動を行い、経済・社会の発展に貢献していくこと。つまり企業の社会的責任(CSR)を果たすことは、当社のステークホルダーの皆様へ信頼され、お客様にとって価値あるビジネスを継続していくうえで不可欠だと考えています。そうした思いのもと、当社は環境・社会貢献活動を展開しています。

第14回東京アビリンピック入賞

当社および当社特例子会社の社員が第14回東京アビリンピック(第14回東京障害者技能競技大会)に出場し、5名の社員が各競技で入賞しました。

トランスコスモスでは今後も障がい者社員の技能向上に取り組んでまいります。

<入賞競技>

- ・DTP競技 : 銀賞1名、銅賞1名
- ・ホームページ : 銅賞1名、努力賞1名
- ・PCデータ入力 : 銅賞1名



第14回東京アビリンピック出場者



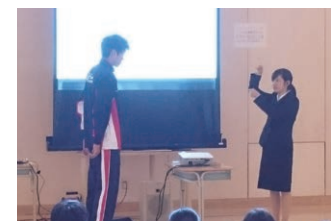
銀・銅メダル・努力賞獲得

渋谷区立上原中学校「福祉体験学習」出張授業を実施

当社の本社と同じく渋谷区に位置する上原中学校の生徒を対象に「福祉体験学習」の出張授業を実施しました。トランスコスモスの手話通訳者と聴覚障がい者の社員がダイバーシティの視点から講義を行い、生徒の皆さんには手話での「自己紹介」を体験してもらいました。



出張授業「福祉体験学習」の様子



手話での会話を伝える当社社員

会社概要 (2016年3月31日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	(トランス・コスモス株式会社) (transcosmos inc.)
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	単体: 9,069名 グループ: 16,401名
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行
本社	東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
大阪本部	大阪府大阪市西区土佐堀2-2-4 土佐堀ダイビル 〒550-0001 TEL.06-4803-9500 (代表) FAX.06-4803-9590

株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	14,366名

大株主の状況 (2016年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 耕己	7,498	15.37
奥田 昌孝	5,910	12.11
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	1,832	3.76
公益財団法人奥田育英会	1,753	3.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,679	3.44
平井 美穂子	1,463	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,069	2.19
有限会社HM興産	722	1.48
トランス・コスモス社員持株会	618	1.27
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	617	1.26

注) 1. 上記の他、当社が自己株式7,656千株を保有しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

役員構成 (2016年6月22日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一 向井 宏之
専務取締役	森山 雅勝 永倉 辰一 牟田 正明
上席常務取締役	高野 雅年 本田 仁志 白石 清
取締役	Ralph Wunsch 佐藤 俊介
社外取締役	夏野 剛※ 吉田 望※ 宇陀 栄次※ (監査等委員)
社外取締役	Owen Mahoney※ 鳩山 玲人※ 島田 亨※
上席常務執行役員	貝塚 洋 松原 健志 緒方賢太郎 小野 敦史 神谷 健志
常務執行役員	山喜 和彦 中山 国慶 山下 栄二郎 河野 洋一 柳下 幹生 内村 弘幸 長谷川 勉 井上 博文 宮澤 範充 谷川 弘樹
執行役員	植松 芳宏 森田 祐行 須部 隆 久保雄一朗 兼澤 伸二 荻野 正人

※独立役員として東京証券取引所に届出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.trans-cosmos.co.jp ※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

●ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



トランスコスモス株式会社

東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
<http://www.trans-cosmos.co.jp>



トランスコスモス通信は、ノーマライゼーション推進部(当社の障がい者雇用部門)がデザイン・制作をしています。